



福岡医発第695号(地)

平成22年 6月25日

各医師会長 殿

福岡県医師会
会長 松田 峻一良
(公印省略)

「平成22年度社会保障・人口問題基礎講座」の開催について(ご案内)

財団法人厚生統計協会より、標記講座の開催について、別紙のとおり通知がありました。

本講座は、地方公共団体や社会福祉団体等において企画調整、社会保障関係・人口統計関係の業務に携わっている職員をはじめとし、対象者を特定せずに社会保障全般及び人口問題にわたる基礎的な事項を統計や制度改正等の制作動向に関する情報を活用し、分かりやすく説明して、より広い視野から問題分析・解明に必要な知識を提供することを目的としたものです。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了解いただくとともに、貴会役員で受講希望される先生がおられましたら、別紙申込書に必要事項をご記入の上、8月25日(水)までにFAX(03-3584-4710)にて、お申込みください。

なお、お問い合わせにつきましては基礎講座事務局 担当：金指、綾部(03-3586-3361)までご連絡ください。

記

△と き	平成22年10月6日(水)～10月8日(金)
△と ころ	ホテルフロラシオン青山 東京都港区南青山4-17-58 TEL 03-3403-1541
△受講定員	180名
△受講料	7,000円

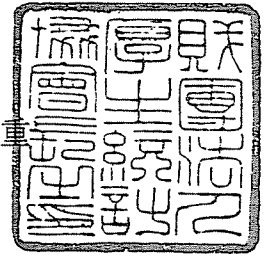
小郡三井医師会より

学術担当理事 権藤秀之
会長 蒲池 壽

平成22年6月18日

各 位

財団法人 厚生統計協会
会 長 長谷川 慧 章



「平成22年度社会保障・人口問題基礎講座」の開催について（ご案内）

平素から、当協会の事業につきまして格別のご高配を賜り、有り難く厚くお礼申し上げます。

さて、今年度も厚生労働省及び国立社会保障・人口問題研究所の後援のもとに「平成22年度社会保障・人口問題基礎講座」を別添実施要領により開催することとしました。

この講座は、社会保障制度の現状や抱えている課題等、社会保障全般にわたる最新の情報や我が国の少子化・長寿化とその周辺に係わる問題を広く取り上げ、受講者に対して理論と実践の両面から、当面する諸問題の分析・解明に必要な指針を提供しようとするものです。

貴関係職員の方々の積極的なご参加をお願いいたしたく、ご案内申し上げます。

なお、会場の都合等により、受講のお申し込みは別添申込要領により平成22年8月25日（水）までをお願い申し上げます。



平成22年度社会保障・人口問題基礎講座実施要領

主催 財団法人 厚生統計協会
後援 厚生労働省
国立社会保障・人口問題研究所

1. 趣旨

この基礎講座は、地方公共団体や社会福祉団体等において企画調整、社会保障関係・人口統計関係の業務に携わっている職員をはじめとして、対象者を特定せずに、社会保障全般及び人口問題にわたる基礎的な事項を、統計や制度改正等の政策動向に関する情報を活用して分かりやすく説明し、より広い視野から問題の分析、解明に必要な知識を提供するものです。

本講座は、厚生労働省及び国立社会保障・人口問題研究所の協力を得て、財団法人厚生統計協会が主催、実施します。

2. 期 日 平成22年10月6日（水）～10月8日（金）

3. 会 場 ホテルフロラシオン青山
東京都港区南青山4-17-58
電話 03-3403-1541

4. 講座内容及び講師名（*講師及び講座内容は都合により変更する場合があります。）

- | | |
|-------------------|-----------------------------------|
| ・社会保障政策の動向 | 伊奈川秀和（厚生労働省社会保障担当参事官） |
| ・労働政策の動向 | 酒光 一章（厚生労働省労働政策担当参事官） |
| ・社会保障と経済・産業 | 川本 明（経済産業省大臣官房審議官） |
| ・少子化対策の現状と課題 | 阿藤 誠（早稲田大学人間科学学術院特任教授） |
| ・将来推計人口が描くこれからの日本 | 金子 隆一（国立社会保障・人口問題研究所
人口動向研究部長） |
| ・高齢者介護の現状と課題 | 筒井 孝子（国立保健医療科学院福祉マネジメント室長） |
| ・出生率と結婚の動向 | 津谷 典子（慶應義塾大学経済学部教授） |
| ・年金制度の現状と課題 | 江口 隆裕（筑波大学大学院教授） |
| ・医療制度の現状と課題 | 尾形 裕也（九州大学大学院医学研究院教授） |
| ・地域人口の将来 | 原 俊彦（札幌市立大学デザイン学部教授） |

5. 受講者定員 180 名

6. 受講料 7,000円

平成22年度社会保障・人口問題基礎講座 受講申込要領

1. 受講のお申し込みは、別紙「平成22年度社会保障・人口問題基礎講座申込書」に必要事項をご記入の上、平成22年8月25日（水）までに、基礎講座事務局宛に郵送又はFAXによりお申し込みください。
2. お申し込みをいただいた受講者の方には「受講票」をお送りいたします。講座当日にご持参ください。
3. 受講者定員は180名となっております。会場の都合により、定員になり次第申し込みを締め切らせていただきます。お早めにお申し込みください。
4. 受講料のお支払いは「受講票」到着後、下記の銀行口座に平成22年9月15日（水）までにお振り込みください。
領収証が必要な方は講座当日に発行いたしますので、お申し込みの際に別紙「平成22年度社会保障・人口問題基礎講座申込書」の領収証発行願いの欄の「領収証発行希望」に○印をお付けください。

銀行名	りそな銀行
支店名	麻布支店
口座種別	普通預金
口座番号	1557673
口座名	(財)厚生統計協会 [(ざい)こうせいとうけいきょうかい]

お振り込みの際、ご入金確認の都合上、必ずお振り込み人の最初に（先頭に）「受講票」に記載しております「受付番号」を入力又は記載してください。

お問い合わせ先

ｶﾅ ﾏﾞｼ

基礎講座事務局 担当：金 指、綾 部

〒106-0032 東京都港区六本木5-13-14

TEL 03-3586-3361

FAX 03-3584-4710

平成22年度社会保障・人口問題基礎講座 受講申込書

所属 団体名			
部課及び 役職		(フリガナ) 受講者名	
所属 団体名			
部課及び 役職		(フリガナ) 受講者名	
所属 団体名			
部課及び 役職		(フリガナ) 受講者名	
所属 団体名			
部課及び 役職		(フリガナ) 受講者名	

領収証発行願い

1. 領収証発行希望	2. 領収証希望なし
* どちらか番号に○印をつけてください。	
宛名称	
* 記入がない場合は、所属団体名で記載させていただきます。	
但書内容	
* 記入がない場合は、[平成22年度社会保障・人口問題基礎講座受講料として] とさせていただきます。	
日付	
* 記入がない場合は、[平成22年10月6日] とさせていただきます。	
領収金額	¥
* お手数ですが、確認のため記入してください。	

受講証書を最終日(全講座修了後)にお渡しする予定でおりますが、要・不要をご記入ください。

1. 受講証書 必要	2. 受講証書 不要
* どちらか番号に○印をつけてください。	

上記のとおり、計 名申し込みます。
平成22年 月 日

申込者

団体名・部課名			
申込者名	〒		
住 所			
TEL		FAX	

* 受講票は申込者に送付させていただきます。

* 受講者が5名以上の場合は、当用紙を複写してご使用ください。

平成２２年度社会保障・人口問題基礎講座 時間表

*講師及び講座内容については都合により変更する場合があります。

第１日 平成２２年１０月６日（水）

時 間	講 座 内 容	講 師
１２：３０～	受付開始	
１３：００～１３：２０	開講挨拶・オリエンテーション	
１３：２０～１４：３０	講座① 社会保障政策の動向	伊奈川秀和（厚生労働省社会保障担当参事官）
１４：３０～１４：４０	休憩	
１４：４０～１５：５０	講座② 労働政策の動向	酒光 一章（厚生労働省労働政策担当参事官）
１５：５０～１６：００	休憩	
１６：００～１７：００	講座③ 少子化対策の現状と課題 ～国際比較の視点から～	阿藤 誠（早稲田大学人間科学学術院特任教授）

第２日 平成２２年１０月７日（木）

時 間	講 座 内 容	講 師
９：３０～１１：００	講座④ 将来推計人口が描くこれからの日本	金子 隆一（国立社会保障・人口問題研究所人口動向研究部長）
１１：００～１１：１５	休憩	
１１：１５～１２：４５	講座⑤ 高齢者介護の現状と課題	筒井 孝子（国立保健医療科学院福祉マネジメント室長）
１２：４５～１４：００	昼食・休憩	
１４：００～１５：３０	講座⑥ 社会保障と経済・産業	川本 明（経済産業省大臣官房審議官）
１５：３０～１５：４５	休憩	
１５：４５～１７：１５	講座⑦ 出生率と結婚の動向 ～少子化と未婚化はどこまで続くか～	津谷 典子（慶應義塾大学経済学部教授）

第３日 平成２２年１０月８日（金）

時 間	講 座 内 容	講 師
９：３０～１１：００	講座⑧ 年金制度の現状と課題	江口 隆裕（筑波大学大学院教授）
１１：００～１１：１５	休憩	
１１：１５～１２：４５	講座⑨ 医療制度の現状と課題	尾形 裕也（九州大学大学院医学研究院教授）
１２：４５～１４：００	昼食・休憩	
１４：００～１５：３０	講座⑩ 地域人口の将来 ～加速する人口減少と地域社会の持続可能性～	原 俊彦（札幌市立大学デザイン学部教授）
１５：３０～１５：４０	閉講挨拶	